



外国出張報告書

平成 27年 6月 25日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成27年6月
3. 出張目的 アフリカ低湿地稲作施肥技術開発に関する試験準備：B

4. 成果の概要

ガーナ国北部に位置するプロジェクトサイト（Zaw村）において、「氾濫低湿地における作物安定生産技術の開発」にかかる施肥試験を開始した。また、これまでの気象観測装置の記録を整理するとともに、各圃場の栽培環境を記録するためのモニタリング機器（土壌水分センサー、水位計、定点カメラ）を設置、初期動作の確認を行った。各圃場における土壌の物理科学特性を分析するために、0-15cmの表層土壌を採取した。さらに、開発した施肥技術の有効性および圃場間差異を多点で検証するための農家参加型試験の準備として、昨年試験を実施したガーナ国北部 Tolon 郡の4カ村を含む、計6つの集落を訪問して、試験概要の説明、および試験への協力依頼を行った。いずれの農家も、イネ栽培における効率的な肥培管理への関心と試験参加・継続への意欲が高く、今年度は約80点の農家圃場で試験を展開できる見込みである。滞在期間中は、カウンターパート機関であるサバンナ農業研究所（SARI）と昨年度の試験結果ならびに今年度の試験計画について、十分に討議することができた。